



AI時代の荒波を 生き抜く力を育てるために

富田幼稚園
宮澤公大

最近、「世の中、ずいぶん便利になったなあ」としみじみ感じるが増えていませんか？

スマホ一つで何でも調べられたり、AIが相談に乗ってくれたり、本当に便利な世の中になりましたよね。

今回は、そんな「便利すぎる時代」だからこそ、改めて大切にしたいポイントを一緒に考えてみましょう。

子育てヒント
「AI時代に問う
人間らしさ」



「便利さ」が加速する

社会と教育の新しい形



現代社会は、AI（人工知能）の進化やデジタルトランスフォーメーション（DX）によって、劇的な変化を遂げています。かつては想像もできなかったオンライン授業が当たり前となり、義務教育現場でも「GIGA スクール構想」によって一人一台の端末が配備されるなど、まさに教育新時代を私たちは生きています。

園の仕事においても、事務の効率化や保護者の皆様との情報共有を円滑にするため、IT サービスを大いに活用しています。先生たちが、もっとお子さん一人一人とかわかり、本質的な教育に向き合うための前向きな一歩と言えます。しかし、社会がどれほど便利になっても、忘れてはならない視点があります。それは、「AI はあくまで便利な手段（道具）であり、それを使う人間の本質は変わらない」という点です。

「コストパフォーマンス」では測れない!?

教育の価値とは…



幼児教育の無償化以降、保護者の子育てに掛かる経済的な負担は軽減されました。しかし、ここで注意したいのは、教育の「価格」がゼロになっても、その「価値」が均一になったわけではないということです。特に「人間教育」という分野は、目に見える数値で表すことが難しく、いわゆる「コストパフォーマンス（価格性能比）」という尺度では説明しきれません。園の建学の精神、伝統、そして日々の創意工夫から生まれる価値は、それぞれの園で異なります。現代のような多様な価値観が認められる社会だからこそ、園とご家庭が教育方針や価値観を共有することが、お子さんの個性を育むための重要な礎となります。

教育の2つの柱

「専門能力」の前に育むべき 「人間活動の諸機能」



教育には、大きく分けて二つの柱があります。

- ① **個人能力を伸ばす教育**： 運動、音楽、語学、学習といった専門的なスキルを伸ばすもの。
- ② **人間活動一般に必要な諸機能の教育**： 感情のコントロール、言語能力、基本的な生活習慣、
読解、道徳、社会性など。

多くの親は、子どもの将来を想うあまり、つい目に見える成果がわかりやすい①（専門能力）に意識が偏りがちです。しかし、どれほど高い専門能力を持ち、AI や便利な機械に囲まれていても、基盤となる②（道徳や社会性などの諸機能）が欠けていては、安定した社会生活を営むことはできません。

この「人間活動の諸機能」を育むのは、第一義的には、「家庭教育」における家族との営みです。幼児教育はその大切な土台作りを補完し、支える場所なのです。



バブル絶頂期の過ち

過去の教訓から学ぶ 「大切なこと」



1987年のバブル絶頂期、さだまさし氏の楽曲『風に立つライオン』の中で、「**僕たちの国は何か大切な処で道を間違えたようです**ね」という歌詞が綴られました。経済優先の価値観に走り、日本人としての精神や人の営みを軽視した結果、その後の「失われた30年」という大きな代償を払うことになった過去があります。

AIという強力な力を手に入れた今こそ、私たちはこの歴史を繰り返してはなりません。時代の変革期だからこそ、流行のスキルや効率性だけに惑わされない、「芯の通った家庭教育」と「ぶれない人間教育への思い」が、私たち大人に問われているのではないのでしょうか。

子育てヒント
『風に立つライオン』
きいてみて



正解が無いからこそ重要

家族で「教育のバランス」 を語り合おう



教育に唯一絶対の「正解」はありません。だからこそ、今、わが子の教育バランスが「スキル（専門能力）」に偏りすぎていないか、人間としての「根っこ」を育てる時間を大切にできているか、ぜひご家庭で話し合ってみてください。子育てに正解はありません。だからこそ、悩みや心配は付き物です。その際、AIに向かって答えを探すのではなく、日々お子さんの姿を直接見ている担任や、園にその悩みをお聞かせください。お子さんが今どのような成長の過程にあるのか、共に語り合しましょう。

お子さんの明るい未来を願い、どのような価値観を大切にしたいかを家族で語り合うこと。その対話自体が、お子さんにとって最高の教育環境となります。幼児教育に関わる私たちも、保護者さんの思いに応え、共鳴し合いながら、より良い教育環境の整備と保育技術の向上に努めてまいります。